

地球温暖化防止活動推進員研修

新規養成研修会開催

地域で11件の実践活動を展開

脱温暖化センターひろしまでは、「地球温暖化防止活動推進員」の新規養成研修会を開催した。

研修は、前期(7/25)・中期(8/8)・後期(12/9)の3回に分けて実施した。前期で温暖化の基礎や事例などを学び、実践可能な企画テーマを抽出して中期で具体化。そして、約4カ月間で実践し、後期で報告するというものである。今回は、企画した実践活動を紹介する。

■ふんわり運動

【大崎上島けんこう文化の島づくり協議会】エコドライブPRチラシを作成し、フェリーリング場のドライバーに配布することも、アンケートを実施。4日間で206人の協力が得られ、エコドライブへの関心および実践状況を調査した。実践率はまだ低く、今後も根強く啓発していく。

■洗剤が不要で、水を汚さず、節水も期待できるアクリルたわしを

通じて、環境問題への関心を高めようと、イベント会場で編み方体験コーナーやチラシの配布、認知度調査を実施。今後は、上手な使い方などを紹介する場を設けるなど、さらなる普及を図る。

■電気・ガス・ガソリン・水道使用量『見える化』キャンペーン

【エコネットたけはう】電気・ガス・ガソリン・水道使用量を毎月記録するシートおよび

■エコライフを始めよう！～簡単！廃油石けんづくり～

環境問題をさまざまに視点で考え行動する仲間を増やすと、「廃油石けんづくり講座」を開催し、容器ごみや運搬焼却にかかるエネルギー使用量の削減、油の製造工程などを紹介。今後は、三原市

■資源リサイクルで脱温化～廃油でアワ・あわ・泡せうけんづくり～

【福山市公衆衛生推進協議会】福山市の講座に参加し、廃油石けんに関する知識や作り方を習得。その後、手城学区まで導入を検討する。

■見つめよう！我が家のエネルギー～家庭でやろう！10の取り組み～

【府中市公衆衛生推進委員会連合会】緑ヶ丘町内会の49世帯に、8～10月分の電気・ガス・灯油・ガソリン・軽油・水道使用量の記録を依頼。回収した36世帯の結果をファーバックするとともに、引き続き家庭での実践

■循環型社会に向けて廃品を有効活用

【吳市川尻町西部2地区自治会】毎月第4土曜日の資源回収をPRするほか、公衛協では、「がん検診

■健康で涼しい夏を～「一夏を栽培し涼風を～

【大河学区老人クラブ連合会】緑のカーテンの普及拡大をめざし、「ゴーヤ鉢植え育成マニア」「ゴーヤの調理マニア」「種の保存マニア」を作成。来年度、関係団体へPRする際に活用する。

■出前トークを開催、資源再生や3R活動、ごみの排出状況と処理に係る経費について周知し、ごみ減量やリサイクルの大切さを呼びかけた。今後も、機会を設けて啓発していく。



介していく。庭2軒を訪問し、導入後の効果や運用を調査。引き続き成功・失敗事例を集め、広く紹介していく。

■使ってみませんか？おしゃれで素敵なエコたれを実施

【布野の食と脱温暖化を考える会】

■省エネ設備導入後の省エネ診断／工場診断／たか診断／地域協議会】



太陽光発電やエコファームなどを導入した家庭などを訪問し、導入を調査。引き続き成功・失敗事例を集め、広く紹介していく。

■あまみすためぞうプロジェクト

【福山北部脱温暖化地域協議会】雨水の有効利用でCO₂削減を図ると、雨水貯留システムの有効性を検証。結果は、新市学区内の回覧で報告するとともに、設置希望者を募集した。

希望者はゼロだったが、引き続きシステムの普及をめざす。

■領収書保管ケースを協力者92人に配布。視覚的に使用量の推移が把握できるよう、記録シートを工夫した。今後、シートを回収・分析し、竹原市の標準値づくりに活かす。

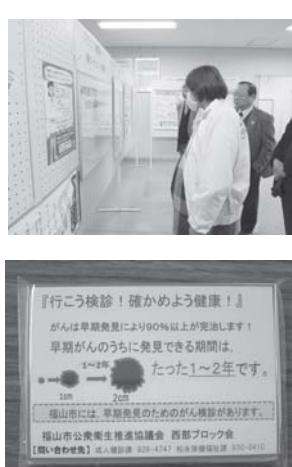
■内各地での講座開催をめざす。

■ちづくり推進委員会主催の指導および資源の有効利用や河川浄化の重要性などを伝えた。今後、新規事業として導入を検討する。

■健康で涼しい夏を～「一夏を栽培し涼風を～

■「一夏を栽培し涼風を～

■地域活動支援センター



パネル展示で、がん検診受診をPR(上)、来場者に配布したポケットティッシュ(下)

1月31日(土)、2月1日(日)に、福山市西部市民センターを会場に多文化交流を主目的としたイベント「フレンドドリーピックまつせり」

【脱温暖化プロジェクト】工場自治会を増やそうと、世羅町西上原地区をモデルに、工場の視点で見て歩く「裏道ウォーキング」や、工場実践者宅をプロットした「笑顔参観ツアー」などを実施。今後もモードル活動を推進しながら、他の自治会へ働きかけ

【福山市がん検診へ行こう】福山市公衛協西部ブロック会【福山市がん検診へ行こう】

1月31日(土)、2月1日(日)に、福山市西部市民センターを会場に多文化交流を主目的としたイベント「フレンドドリーピックまつせり」

トに公衛協は出展していなかつた。しかし、今年度実施している「がん検診へ行こうよ！」キャンペーンモデル事業の一環として、広く松永地区の住民に健康診断特に

の学区ごとの大腸がん健診の受診率をグラフで紹介したパネル等の展示や、広島県・福山市・松永エリアのがん検診受診状況をまとめた資料と受診PRポケ

が低いことにびっくりした」など、健診や受診結果の見方など、日々の気になっていたこと熱心に聞いていた。

福山市西部ブロック公衛協では、「がん検診

【パネルとアンケート調査や研修会も企画】

がん検診の大切さについて訴えたため、出展を決めた。

当日は、福山市の成人健診課・松永支所保健福祉課と協働し、福山市の

ツツティッシュを配布。また、保健師による健康相談も行われ、来場者は「健診が大切なのはわかっていても怖い」という思いもあって、なかなか行動できない」「受診率

へ行こうよ！」キャンペーンモデル事業の一環として、推進委員を対象とした「健康に関するアンケート調査」や、市民を

に参加して、引き続き啓発活動を行っていきたい」とがわかった。

「アンケート結果で各学区の状況がわかつたので、取り組みの資料をして活用したい。また各

学区での催しに積極的に参加して、引き続き啓発活動を行った」と瀬尾敏治会長は意気込みを語られた。

今後の普及啓発活動に期待したい。

(地域活動支援センター)